

簡易削孔式接地工法(簡易ボーリング)

ビットアース接地工法

株式会社 モノトーン

特長

岩盤・オニマサ等の硬地質で、パイプアース工法での打込みが困難な場合に使用できます。ビットアース工法は、ハンド削岩機で回転打撃しながら削孔し、先端のビット(トップビット)と連結させたロッド(ガードパイプCZ)を、引き抜かずそのまま接地極として埋設します。

一般的なボーリング接地工法での、「大型重機の設置」「ロッドの引抜き」「接地極の挿入」という最も労力と費用がかかる作業工程が不要なため、「簡易的」で「大幅なコスト削減」が可能だけでなく、「重機搬入が困難な場所」でも施工できます。

施工状況



使用機材



ハンド削岩機
(ジャックハンマー)

東空販売製 TJ-15・TJ-20BS
サンドビット製 TY16C・TY-62
(シャンク:H22-83mm)

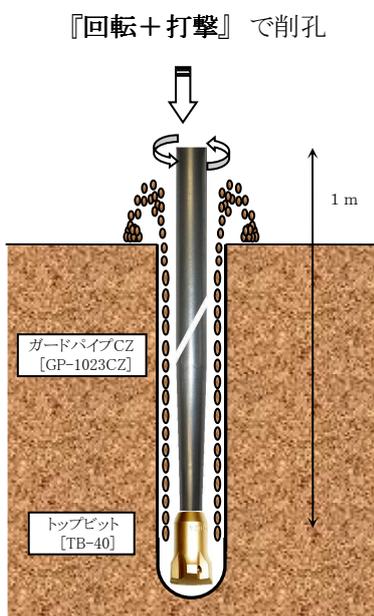


ビットアース打設棒
[BH-23]



エアークOMPRESSOR 25ps

略図



概要

打込方法	ハンド削岩機による回転打撃式
作業可能範囲	コンプレッサーを搭載した車両から半径 100 m まで
対応地質	岩盤・オニマサ地質(軟岩)での施工に能力発揮
削孔深度	5 ~ 15 m (地質条件により変動)

作業工程

①	削孔	先端部の土砂をエアで吹き上げながら削孔する。削孔限界地点まで、ガードパイプの連結を繰り返す。
②	低減材注入	低減材をガードパイプ内部及び土壌との隙間から充填する。
③	測定	規定値クリア、または規定値取得に必要な施工極数を算出する。
④	接続	規定深度でガードパイプを切断し、リードピン端子を打ち付ける。 リードピン端子 [PRP-2322]

(注意事項) 作業には必ず防塵マスク、防塵メガネの着用をお願いします。